

# 入試に出た漢字小テスト 13

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 早寝早起きの <u>シュウカン</u> 。	
② 朝顔の <u>カンサツ</u> 日記。	
③ 生徒会役員の <u>コウホ</u> 者になる。	
④ 事件の <u>ハイケイ</u> を知る。	
⑤ 足立区の人口を <u>チョウサ</u> する。	
⑥ 本名を <u>偽</u> って生活する。	
⑦ 世界新記録に <u>挑</u> む。	
⑧ ここから大きく <u>隔</u> たった場所。	
⑨ 春になって <u>つぼみ</u> が <u>膨</u> らむ。	
⑩ バトンを上手に <u>操</u> る選手。	

# 入試に出た漢字小テスト 14

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 大きな災害に胸を <u>イタ</u> める。	
② 栄養の不足分を <u>オギ</u> なう。	
③ 日本に存在が <u>タシ</u> かめられた。	
④ 保護者への手紙を <u>ク</u> ばる。	
⑤ 幼い時から読書に <u>シタ</u> しむ。	
⑥ 日本とドイツを <u>比</u> 較する。	
⑦ 物事の <u>とらえ方</u> を <u>示</u> 唆する。	
⑧ タ方の空の色の <u>微</u> 妙な変化。	
⑨ 歴史的な人物の <u>様</u> 々な <u>逸</u> 話。	
⑩ よく <u>吟</u> 味して <u>選</u> ぶ。	

# 入試に出た漢字小テスト 13

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 早寝早起きの <u>シュウカン</u> 。	習慣
② 朝顔の <u>カンサツ</u> 日記。	観察
③ 生徒会役員の <u>コウホ</u> 者になる。	候補
④ 事件の <u>ハイケイ</u> を知る。	背景
⑤ 足立区の人口を <u>チョウサ</u> する。	調査
⑥ 本名を <u>偽</u> って生活する。	いつわ
⑦ 世界新記録に <u>挑</u> む。	いど
⑧ ここから大きく <u>隔</u> たった場所。	へだ
⑨ 春になって <u>つぼみ</u> が <u>膨</u> らむ。	ふく
⑩ バトンを上手に <u>操</u> る選手。	あやつ

# 入試に出た漢字小テスト 14

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 大きな災害に胸を <u>イタ</u> める。	痛
② 栄養の不足分を <u>オギ</u> なう。	補
③ 日本に存在が <u>タシ</u> かめられた。	確
④ 保護者への手紙を <u>ク</u> べる。	配
⑤ 幼い時から読書に <u>シタ</u> しむ。	親
⑥ 日本とドイツを <u>比</u> 較する。	ひかく
⑦ 物事の <u>とらえ</u> 方を示 <u>唆</u> する。	しそ
⑧ 夕方の空の色の <u>微</u> 妙な変化。	びみよう
⑨ 歴史的な人物の <u>様</u> 々な <u>逸</u> 話。	いつわ
⑩ よく <u>吟</u> 味して選 <u>ぶ</u> 。	ぎんみ

# 入試に出た漢字小テスト 15

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 大きな災害に胸をイタ <sup>レ</sup> める。	
② 栄養の不足分をオギ <sup>ナ</sup> う。	
③ 日本に存在がタシ <sup>カ</sup> められた。	
④ 保護者への手紙をク <sup>バ</sup> る。	
⑤ 幼い時から読書にシタ <sup>シ</sup> む。	
⑥ 日本とドイツを比 <sup>カ</sup> 較する。	
⑦ 物事のとらえ方を示 <sup>ス</sup> 唆する。	
⑧ 夕方の空の色の微 <sup>カ</sup> 妙な変化。	
⑨ 歴史的な人物の様々な逸 <sup>ワ</sup> 話。	
⑩ よく吟 <sup>ウ</sup> 味して選 <sup>ビ</sup> ぶ。	

# 入試に出た漢字小テスト 16

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① ヨウ <sup>イ</sup> に解決できない問題もある。	
② クラスの人間カン <sup>ケ</sup> イが良い。	
③ ジョウ <sup>ウ</sup> シキを一度は疑 <sup>ウ</sup> ってみる。	
④ フシ <sup>ギ</sup> な出来事が頻 <sup>ハ</sup> 発する。	
⑤ リツ <sup>パ</sup> な角をもった牡 <sup>カ</sup> 鹿。	
⑥ 色々と思いを巡 <sup>ラ</sup> らす。	
⑦ 親しい友人の気分を損 <sup>ナ</sup> った。	
⑧ 川を挟 <sup>ム</sup> んで向かい合 <sup>ウ</sup> って建 <sup>ツ</sup> つ家。	
⑨ この問題についての考 <sup>エ</sup> を尋 <sup>ネ</sup> る。	
⑩ 戸惑 <sup>イ</sup> いを見せまいと振 <sup>ル</sup> る舞 <sup>ウ</sup> 。	

# 入試に出た漢字小テスト 15

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 大きな災害に胸をイタ <sup>レ</sup> める。	痛
② 栄養の不足分をオギ <sup>ナ</sup> う。	補
③ 日本に存在がタシ <sup>カ</sup> められた。	確
④ 保護者への手紙をク <sup>バ</sup> る。	配
⑤ 幼い時から読書にシタ <sup>シ</sup> む。	親
⑥ 日本とドイツを比 <sup>カ</sup> 較する。	ひかく
⑦ 物事のとらえ方を示 <sup>シ</sup> 唆する。	しそ
⑧ 夕方の方の空の色の微妙 <sup>ニ</sup> な変化。	びみょう
⑨ 歴史的な人物の様々な逸 <sup>ワ</sup> 話。	いつわ
⑩ よく吟味 <sup>シ</sup> て選 <sup>ビ</sup> ぶ。	ぎんみ

# 入試に出た漢字小テスト 16

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① ヨウイ <sup>ニ</sup> に解決できない問題もある。	容易
② クラスの人間カンケイ <sup>が</sup> が良い。	関係
③ ジョウシキ <sup>を</sup> を一度は疑 <sup>ッ</sup> ってみる。	常識
④ フシギ <sup>な</sup> 出来事が頻 <sup>ニ</sup> 発 <sup>ス</sup> する。	不思議
⑤ リツ <sup>パ</sup> な角をもった牡鹿 <sup>オしか</sup> 。	立派
⑥ 色々と思いを巡 <sup>ラ</sup> らす。	めぐら
⑦ 親しい友人の気分を損 <sup>ナ</sup> らした。	そこ
⑧ 川を挟 <sup>ミ</sup> んで向かい合 <sup>ッ</sup> って建 <sup>ツ</sup> 家。	はさ
⑨ この問題についての考 <sup>エ</sup> を尋 <sup>ネ</sup> る。	たず
⑩ 戸惑 <sup>イ</sup> いを見せまいと振 <sup>ル</sup> 舞 <sup>ウ</sup> 。	とまど

# 入試に出た漢字小テスト 17

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

①ベンリな道具が開発される。	
②血液がエイヨウ分を運ぶ。	
③自分のニンムをきちんと果たす。	
④キョウミのある内容の本。	
⑤カッコウいいキャラクター。	
⑥熟れた果実が木から落ちる。	
⑦落ち込んだ友人を慰める。	
⑧サッカー部への入部を勧められた。	
⑨岸壁に当たって波が砕ける。	
⑩陽射しの中に踊るほこりが見える	

# 入試に出た漢字小テスト 18

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

①とうとう山頂にタツする。	
②失敗をして自分をせめる。	
③木になった柿がジユクす。	
④オサナい頃の記憶をたどる。	
⑤読書感想文の構成をよくネる。	
⑥煩雑な手続きが多すぎる。	
⑦問題には迅速に対応する。	
⑧休憩は挟んで再開する。	
⑨新鮮な野菜で料理する。	
⑩スマートフォンが普及する。	

## 入試に出た漢字小テスト 17

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① <u>ペン</u> リな道具が開発される。	便利
② 血液がエイ <u>ヨウ</u> 分を運ぶ。	栄養
③ 自分の <u>ニム</u> をきちんと果たす。	任務
④ <u>キョウミ</u> のある内容の本。	興味
⑤ <u>カッコウ</u> いいキャラクター。	格好
⑥ <u>熟</u> れた果実が木から落ちる。	う
⑦ 落ち込んだ友人を慰 <u>め</u> る。	なぐさ
⑧ サッカー部への入部を勧 <u>め</u> られた。	すす
⑨ 岸壁に当たって波が砕 <u>け</u> る。	くだ
⑩ 陽射しの中に踊 <u>る</u> ほこりが見える。	おど

## 入試に出た漢字小テスト 18

傍線部のカタカナを漢字に直し(送り仮名がある場合は書く)、傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① どうとう山頂に <u>タツ</u> する。	達
② 失敗をして自分を <u>セ</u> める。	責
③ 木になった柿が <u>ジュク</u> す。	熟
④ <u>オサナ</u> い頃の記憶をたどる。	幼
⑤ 読書感想文の構成をよく <u>ネ</u> る。	練
⑥ <u>煩</u> 雑な手続きが多すぎる。	はんざつ
⑦ 問題には <u>迅速</u> に対応する。	じんそく
⑧ <u>休憩</u> は挟んで再開する。	きゆうけい
⑨ <u>新鮮</u> な野菜で料理する。	しんせん
⑩ スマートフォンが普 <u>及</u> する。	ふきぎゆう

# 臨時休業中の課題冊子「語彙」に関するプリント」の復習7

一年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

例文のぼう線部の言葉を使って短文を作ろう。文中での使い方によって、ぼう線部の言葉の形を変えてもかまいません。(例) 鋏を削る ↓ 鋏を削った

<p>【例文】国語教育の第一人者の教授の著書を熟読する。</p>	<p>【意味】ある分野や組織の中で、もつとも力の優れている人。</p>
<p>【短文作り】</p>	
<p>【例文】梅のつぼみが膨らんできて、春の趣がいつそう感じられるようになってきた。</p>	<p>【意味】全体から感じられる、味わいのある雰囲気。</p>
<p>【短文作り】</p>	
<p>【例文】コミュニケーションを大事にしてクラスの親和性を高める。</p>	<p>【意味】お互い仲良く、親しみ合っていること。</p>
<p>【短文作り】</p>	
<p>【例文】また奥の手が残っているから、心配しないでもいい。</p>	<p>【意味】最後まで使わないでおく、大事な手段。</p>
<p>【短文作り】</p>	
<p>【例文】これまでの計画を練り直すことを余儀なくされた。</p>	<p>【意味】ほかにどうしようもない。やむをえず。</p>
<p>【短文作り】</p>	

# 臨時休業中の課題冊子「語彙」に関するプリント」の復習⑧

一年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

例文のぼう線部の言葉を使って短文を作ろう。文中での使い方によって、ぼう線部の言葉の形を変えてもかまいません。(例) 鎚を削る ↓ 鎚を削った

<p>【例文】東京の名勝をたずねて、一日旅気分を味わう。</p> <p>【短文作り】</p>	<p>【意味】景色がすぐれていること。景色のすぐれた土地。</p>
<p>【例文】次の大会がこれまでの成果が試される試金石となるだろう。</p> <p>【短文作り】</p>	<p>【意味】人の能力や物事の価値をはかる基準となるもの。</p>
<p>【例文】あの人がいっただい何を考えているのか捕捉するのが難しい。</p> <p>【短文作り】</p>	<p>【意味】とらえること。</p>
<p>【例文】どこの馬の骨ともわからない人間に任せるわけにはいかない。</p> <p>【短文作り】</p>	<p>【意味】生まれや育ちのわからないような人をばかにするという言い方。</p>
<p>【例文】この学者の思想のエッセンスが詰めこまれた、読むのに最適な入門書。</p> <p>【短文作り】</p>	<p>【意味】そのもの一番大事などころ。</p>



# 臨時休業中の課題冊子「語彙」に関するプリント」の復習9

一年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

例文のぼう線部の言葉を使って短文を作ろう。文中での使い方によって、ぼう線部の言葉の形を変えてもかまいません。(例) 鋳を削る ↓ 鋳を削った

<p>【例文】この家具からは年季<small>ねんき</small>の入<small>はい</small>ったいい仕事を感じられてくる。</p>	<p>【意味】長年、その仕事の経験を積んで、腕がみがかれている。</p>
<p>【短文作り】</p> <p>【例文】宮沢賢治の作品には魅力的な擬音語<small>ぎおんご</small>がたくさん出てくる。</p>	<p>【意味】ものの音や声をまねて表したことば。</p>
<p>【短文作り】</p> <p>【例文】芸術家の数奇<small>すうき</small>な一生をとらえた素晴らしい伝記を読んだ。</p>	<p>【意味】幸、不幸など、浮き沈みがはげしいめぐりあわせである。</p>
<p>【短文作り】</p> <p>【例文】進むべき道を示唆<small>しそく</small>してくれた恩師。</p>	<p>【意味】はっきりとは示さないで、それとなく教えること。</p>
<p>【短文作り】</p> <p>【例文】あの人には周りの人の意見に耳を貸さずに行動してしまう<u>きらい</u>がある。</p>	<p>【意味】好ましくない傾向がある。</p>
<p>【短文作り】</p>	